



アメリカ経済への考察

令和7年4月30日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

強い通貨と高い給与水準は、世界の資本の流入と国内経済の規模において、その経済の維持を与えるものである。

これら圧倒的な豊かさは、グローバル経済におけるトッププレゼンスと先端産業への資本の流入において、今日の栄華を与える。

緊密に結びつく、世界経済は、トランプアメリカ大統領の関税政策が、今日の一体化するグローバル経済において、その実用性を疑問視されるものであるという判断を有するものである。

しかし考えるべきは、アメリカの高い給与水準と消費者物価、それと新たに創出される先端産業などは、決して否定できるものではないのであり、それを支えるのは、自由経済システムと世界から流入される資金であることは理解できるものである。

これらはアメリカが有する高い教育環境が、競争原理というビジネスの現実において新たな可能性を創出することであるという認識は正しいのである。

これらは西洋の原理が、競争原理であることにおいて理解することを要求される。

これらアメリカは明らかに世界経済の牽引するものである。今日の新しい生活において彼らの技術と製品を否定してそれを求めることはできないのである。

これらは競争と進歩というサイクルは、ビジネスの高揚であり、世界のグローバリズムの現実なのである。

これら豊かさはさらなる富を希求するものであることは理解しなくてはならない。この実体経済と金融経済の相関性とアメリカの現実は一つの矛盾を有するのである。

これがマネーゲームと企業の生産性という相互矛盾である。しかしこれらマネーゲームは資金の流入を与えるものであり、それを否定して彼らの経済の立脚は不可能なのである。